

【沖縄県立コザ高等学校】 平成 30 年度 音楽Ⅱ シラバス

単位数	2 単位	教科担当	西田 都
学年・学級	第 2 学年 1 ～ 5 組（選択音楽）		
使用教科書	教育芸術社 MOUS A II		

1 教科の目標

- ・音楽の諸活動を通して、生徒が感性を働かせて個性豊かに表現したり主体的に味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を高める。
- ・音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに質的な価値を見出せる感性を高める。
- ・音や音楽を知覚・感受し、思考・判断し表現する過程を通して個性豊かな表現と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。
- ・楽曲固有のよさや美しさを味わい理解するだけでなく、文化的・歴史的背景などの広い視野で音楽を捉えることで、音楽文化の理解を一層深める。

2 育てたい生徒像

「音楽Ⅱ」では「音楽Ⅰ」の学習を基盤として、生涯にわたって音楽の永続的な愛好心をはぐくむことを重視したい。そのため音楽のよさや美しさを感じ取り、質的な価値を見出していくための感性を高めていくことを基礎としていく。音楽の諸活動をするにあたっては生徒一人一人が個性豊かに表現したり、主体的に味わって鑑賞したりさせていく。その上で生徒自らが感性を働かせて音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、その要素と働きを理解し、思考・判断して表現、鑑賞できるようにすることで、これまで以上に豊かな経験が積み重ねられ、感性的な認識が一層深まっていく。また、音楽の文化的・歴史的背景など広い視野で音楽を捉え、特に我が国や郷土の伝統音楽を取り上げて生徒自身と音楽とのかかわりに関心をもたせ、音楽文化の理解を深めたい。

3 授業の内容と学習方法

- (1) 独唱・斉唱から合唱まで多様な表現形態を通して、日本語の歌詞及び諸外国の歌詞のものなど、それぞれの文化的・歴史的背景をふまえ、曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して、個性豊かな歌唱表現をする。
- (2) 我が国及び郷土の伝統音楽や世界の各地域の諸民族の音楽の特徴を知り、音楽のよさや美しさなどの特徴について理解を深める。
- (3) 個性豊かな表現に必要な和楽器やギター、ハンドベルなどの奏法を身につける。また、独奏や重奏や合奏、声や楽器を組み合わせた表現、身体表現など様々な表現形態で学ぶ。
- (4) 表現したい音楽のイメージをもって音・音楽の質感を感じ取り、音楽を形づくっている要素とその働きを理解しながら、音を音楽に構成していけるよう創造的に創作する。
- (5) 演奏形式による楽曲の特徴を学んだり、鑑賞と表現活動を組み合わせた舞台芸術の世界を学んだりするなど、音楽表現の多様性や美しさに気づき、主体的に鑑賞する。
- (6) 音楽を形づくっている諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらが楽曲をどのように特徴づけているかについて理解し、思考・判断して創造的な表現、主体的な鑑賞を行う。

評価について

- ・学期毎に実技、ペーパーテストを実施
- ・提出物、授業での練習過程（出席率含む）も評価の対象となります。